

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク（ARRN）の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。

目次

	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ.....	1
➤ 会員寄稿記事.....	3
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ.....	6
➤ 会議・イベント案内.....	7
➤ 書籍等の紹介.....	7
➤ 会員募集中.....	8

JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

「桜のある水辺風景 2014」応募写真集発行 & 優秀作品が決まりました

JRRN では、日本の水辺の魅力を再発見できるような桜の水辺写真をこの春も募集し、熊本から北海道まで、24 名の方々より 55 点の素敵な作品をご応募頂きました。そして、その中から、JRRN 会員選考による優秀作品及び佳作作品が決まりましたのでご紹介させていただきます。

優秀賞



佳作



「嘉瀬川の守り神の桜と、嘉瀬川を泳ぐ鯉のぼり」

佐賀県佐賀市・嘉瀬川
撮影◎渡部秀之



「ひと雨ごとに春を呼ぶ桜」

愛知県名古屋市・堀川
撮影◎滝宏志

皆様からご応募頂きました全作品をとりまとめた「桜のある水辺風景 2014 応募写真集」が完成致しましたので、ご覧頂ければ幸いです。



※「桜のある水辺風景 2014 写真集」はこちらから
URL: <http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/90>

以下、桜のある水辺風景 2014 “はじめに” (JRRN 代表理事 土屋信行) より抜粋。

“写真と同じように桜の情景を写したものに和歌があります。これも一首一首、桜の情景とそれ以上に読み人の置かれた立場や状況が思い起こされてしまいます。桜の花は昔から人々の心に、強く訴えてきたのです。皆さんの写真と合わせて、昔人の桜も楽しみたいと思います。”

世の中にたえて桜のなかりせば 春の心はのどけからまし
在原業平・古今和歌集
いにしへのならのみやこの八重桜 けふ九重にほひぬるかな
伊勢大輔・詞花和歌集
あをによし ならのみやこは 咲く花の にほふがごとく 今盛りなり
小野老・万葉集

(JRRN 事務局・後藤勝洋)

「富士川支流の稲瀬川の桜堤」

静岡県富士宮市・稲瀬川
撮影◎加藤晴敏



「どうやって写真撮ろうか？」

神奈川県横浜市・大岡川
撮影◎和田彰

「小さな自然再生」事例集制作プロジェクト進捗報告 ～再生事例の位置情報マップ化～

JRRN では、市民が河川管理者と連携して日曜大工的に取組める「小さな自然再生」に関わる事例集の制作を本分野の有識者や若手有志と協働で進めており、7月の活動を簡単にご報告させていただきます。

2014年6月9日(月)に開催しました「第1回事例集編集委員会」を受け、7月は主に以下の二つの作業に取り組ましました。

- ① 事例集内での各事例の紹介方法(個別事例の掲載フォーマット、デザイン等)に関わる検討。
- ② 全委員が把握する小さな自然再生事例の棚卸しと AQMAP 上への概要及び位置情報の搭載。

①として、第1回編集委員会では各事例の紹介内容として以下(枠内)の様な項目が提案され、各事例の特徴を読者に判り易く伝える上で留意すべき点、デザイン上の工夫などについて委員の助言を得ながら検討を進めております。

- タイトル(判り易いキャッチコピー等)
- 事業の目的、きっかけ、経緯
- 技術論(工夫した点、失敗談等)
- スキーム論(体制、資金、維持管理など)
- 1次効果(目的に対しての効果)
- 2次効果(子供の利用、地域づくりなど)
- 達人のコメント 等

8月上旬には各事例の紹介方法を定め、各委員による原稿執筆に着手する予定です。

また②では、事例集制作に先駆け、各委員が把握する小さな自然再生事例の簡易リストを作成し、それぞれの事例を google マップを活用した AQMAP (<https://www.aqmap.info/>)上で紹介することで、皆様の訪問先における最寄りの小さな自然再生事例スポットを検索可能としました。各委員の提供情報に基づき、随時 AQMAP 上へ事例掲載を進めていきますので、右図の手順で事例を検索頂ければ幸いです。

年末の本事例集完成に向け、今後も活動進捗を本誌で随時ご報告させていただきますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

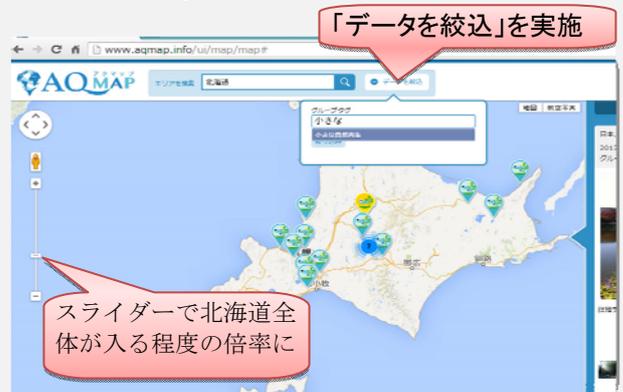
なお、本活動は(公財)河川財団の河川整備基金の助成を受けて実施しています。

AQMAP における小さな自然再生事例の検索手順
(例: 北海道の事例を検索する場合)

- 【1】AQMAP にアクセスし検索したい地域名を入力**
・<https://www.aqmap.info/> にアクセスし北海道>と入力して虫メガネをクリック。



- 【2】小さな自然再生事例のみを絞り込み**
・まずは左のスライダーで北海道全体が入る倍率に。
・続いて「データを絞込」に<小さな自然再生>と入力後、エンターキーを押す。するとグループタグ候補として「小さな自然再生」がグレーで表示。
・その後「絞り込み」ボタンをクリックして事例の絞込を実行。小さな自然再生事例のみが地図上に表示される。



- 【3】各事例情報を選択**
・水滴マークをクリックして、事例の概要や位置情報を確認。



(JRRN 事務局・和田彰)

8月

夏休みは川へ行こう！



川系男子の『川と人』めぐり No. 26～夏休みの北海道の川～

坂本貴啓 (筑波大学大学院 システム情報工学研究科 博士後期課程 白川直樹研究室『川と人』ゼミ)

『川と人』
めぐり

研究室のゼミ名『川と人』ゼミという言葉をもじって、『川と人』めぐりのタイトルで連載していきます。テーマは川と人。川が好きでしようがない『川系男子』が川めぐりをしながら、川への思いや写真・動画などをご紹介していきます。

♪おお牧場はみどり 草の海 風が吹く
おお牧場はみどり よく茂ったものだ

(唱歌『おお牧場はみどり』 チェコ民謡, 訳詞 中田羽後)

2014年7月15日～23日にかけて北海道の河川を旅した。北海道の河川歩きの訪問はこれで4回目。7月に訪問したのは初めてである。

旅先に出ると、よく知人にポストカードを贈るので、今回は暑中お見舞いとしてポストカード風に短い文章で川巡りをご紹介します。

暑中お見舞い申し上げます □□□-□□□□

読者の皆さまへ

7月16日 (石狩川、鶴川、沙流川)

今日から北海道の川巡りスタートです。最初に北海道開発局に行き、北海道全道の地図をいただく、そこから川巡りをスタート。古賀河川図書館の古賀邦雄さんと一緒。

1日目、藻岩山により、札幌市内を流れる豊平川を展望。次に定山溪ダム、漁川ダムをみる、そのまま南下し、支笏湖を通り、苫小牧方面へ、鶴川を廻りつつ、沙流川へ、沙流川の二風谷ダムにアイヌ集落は流む。

この日は帯広までいく330kmの長旅でした。

暑中お見舞い申し上げます □□□-□□□□

読者の皆さまへ

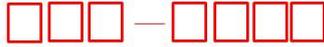
7月17日 (十勝川、石狩川)

帯広市内を出発し、札内川ダムへ向かう。途中、幸福駅をみつける。

札内川ダムの堤体にイワツバメが舞う。十勝川本川の千代田堰堤を見学、スケールの大きさに感動。そのまま上流部へ廻る。然別湖、糠平ダムを見学。石狩山脈を越えて石狩川上流部の大雪ダムへ、まだ生まれたての幼い石狩川を下る途中に層雲峡を通る。層雲峡の中に本流ダムという小さな電力ダムをみつける。

夜は当麻町の水田の中にある宿に泊まる。十勝平野では畑作地帯で蛙の鳴き声さえ、きかなくなったのに、旭川周辺は大蛙の大合唱の響く大稲作地帯です。

暑中お見舞い申し上げます



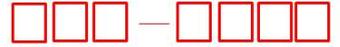
読者の皆さまへ



7月18日(石狩川、清滑川)

今日は当麻町からスタートし、当麻川を廻り、当麻ダムへ、立派なアース式ダム、洪水吐きの再開発工事を行っていた。その後清滑川を源流から河口まで下り紋別へ、道沿いにずつと川が流れているが、中流域の滝上町に入るまでは人が川に近づけるような場所はほとんどなく、手付かずに近い川、初めて清滑川の河口をみる。その後、旭川方面へ戻り、美瑛へ、あいにくの夕立にて景色はほとんどみえず、美瑛川、辺列川をみる。

暑中お見舞い申し上げます



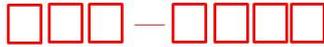
読者の皆さまへ



7月23日(石狩川、小樽運河)

北海道最終日、札幌から小樽へ、小樽運河を見学、運河沿いに人が多く行き交う空間ができていて、この風景は今、福岡県の遠賀川で考えている水辺デザインに大いに参考になりそうだ。北国の夏の川巡りを終えた、移動距離は総計約1,800km、短い夏だからこそのみずみずしさがあり、よき川とともによき思い出の残る川巡りになりました。

暑中お見舞い申し上げます



読者の皆さまへ



7月19日~22日(天塩川)

今日からはミツカン水の文化センターの機関誌の取材で天塩川、10月に発行の水の文化誌に天塩川の特集が載るので楽しみにして下さい。天塩川の源流から河口まで4日間かけて旅しました、北の大河にカヌーが何艘も行き交う姿は圧巻でした、ここで同行者の古賀さんが詠む。

夏ありて 雲ありてこそ 函の岳
夏雲や 消えてくれよと 利尻富士
五人の夏 旅終えし 天塩川

古賀邦雄詠む



【筆者について】

坂本 貴啓 (さかもと たかあき)

1987年福岡県生まれ。北九州市で育ち、高校生になってから下校途中の遠賀川へ寄り道をするようになり、川に興味を持ち始め、川に青春を捧げる。高校時代にはYNHC(青少年博物学会)、大学時代ではJOC(Joint of College)を設立して川活動に参加する。自称『川系男子』。いつか川系男子や川ガールが流行語になることを夢みている。筑波大学大学院 システム情報工学研究科 博士後期課程 構造エネルギー工学専攻在学中。白川直樹研究室『川と人』ゼミ所属。研究テーマは『河川市民団体における活動量の定量的分析』と題し、河川市民団体の活動がどの程度河川環境改善の潜在力を持っているかについて研究中。最近のお気に入り川遊び。

水辺からのメッセージ No.63

岡村幸二 (JRRN 会員)

中村神社をいざ出陣： 中村神社から相馬市街への行列は、雲雀が原の祭場地へと向かう



撮影：2014年7月（福島県・相馬市相馬野馬追）

◆歴史・伝統を受け継いで

東北六魂祭の一つでもある相馬野馬追は、一千有余年の歴史と伝統を受け継ぐ国の重要無形文化財でもあり、毎年7月23日から神事と祭りが一体に行われてきましたが、一昨年から観光客にも配慮して7月最終の土日に行われています。

真夏の強い日差しがそそぐ相馬中村神社を起点に、装飾された馬に甲冑姿で乗る騎馬武者が、旧市街を隊列を組んで勇ましい掛け声とともに行列行進を披露します。馬のいななく声も川の風に乗って聞こえてきます。

■ JRRN 会員皆様からの寄稿記事を募集しています！

旅先で見かけた水辺の風景や思い、水辺再生に関わる様々な活動報告、また河川環境再生に役立つ技術等、JRRN 団体・個人会員皆様からの寄稿記事をお待ちしています。(JRRN 事務局)

【JRRN 会員からの提供情報】

■「川遊びマップ」リリース案内

一般社団法人 ClearWaterProject より、「川遊びマップ」リリースのお知らせが届きました。

「川遊びマップ」は、楽しく川遊びをするための情報や全国の川遊びスポット情報を集めたサイトで、スマホアプリ (iPhone、android) ではスポットへのルート案内も利用できます。

(一社) ClearWaterProject では、川のファンを増やすためにこのサービスを制作したとのこと。皆様、この夏の川遊びに是非ともご活用ください。

◆詳細は以下参照：

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/1733.html>



【JRRN 会員からの提供情報】

■「森里海連環による有明海再生への道」新刊案内

矢部川をつなぐ会より、筑後川・矢部川の河口で実施するプロジェクトに関わる新刊書籍案内です。

●題名：森里海連環シリーズ 1 「森里海連環による有明海再生への道」

●編集：NPO 法人 SPERA 森里海・時代を拓く

●監修：吉永郁生・田中克

●発行：花乱社 (福岡市)

●出版月：2014 年 7 月

●価格：1600 円 (税抜き)

●内容：三井物産環境基金研究助成「瀕死の海、有明海の再生：森里海連環の視点と統合学による提言」のまとめとして出版

◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/1686.html>



【JRRN 会員からの提供情報】

■「第 7 回いい川・いい川づくりワークショップ (9 月 20-21 日)」参加 (発表者) 募集案内



NPO 法人全国水環境交流会より、本年 9 月に開催される「第 7 回いい川・いい川づくりワークショップ」の参加 (発表者) 募集案内 (応募〆切：8/20) です。

◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/1719.html>

【海外からの提供情報】

■ECRR (ヨーロッパ河川再生センター) ニュースレター最新号紹介

ECRR の最新ニュースレター (2014 年 6 月号) が ECRR 事務局より届きました。(言語：英語)

本号では、World Fish Migration Day、環境流量の必要性、ECRR の Warsaw 交流行事報告、また本年 10 月に開催される ERRC2014 (第 6 回欧州河川再生会議) の案内などが紹介されています。

◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/1716.html>



【海外からの提供情報】

■RRC (英国河川再生センター) 最新会報 (Bulletin) 紹介

RRC の最新会報 (2014 年 7 月号) を RRC 事務局より送付頂きました。(言語：英語)



RRC 主催の英国南部河川再生事業視察行事の報告、Wild Trout Trust Conservation Awards、第 15 回 RRC 年次講演会成果報告書等が紹介されています。

◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/1730.html>

【海外からの提供情報】

■豪州河川事業や川遊びの場所検索サイト「RIVERSPACE」紹介

ARRN (アジア河川・流域再生ネットワーク) 会員である ARRC (オーストラリア河川再生センター) より、オーストラリアの河川事業や川の学習場、水辺遊び場などの位置検索サイト「RIVERSPACE - A place for wetlands, rivers and people」開設の案内が届きました。(言語：英語)

◆詳細は以下参照

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/1727.html>



(国内の河川・流域再生に関する主なイベント)

■雨といきもの展 in 国営みちのく杜の湖畔公園
 ○日時：2014年8月1日(金)～31日(日)
 ○主催：国土交通省東北地方整備局国営みちのく杜の湖畔公園事務所
 ○場所：国営みちのく杜の湖畔公園(宮城県柴田郡)
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1948.html>

■ミツカン水の文化センター第19回里川文化塾
 ○日時：2014年8月9日(土)
 ○主催：わくわく・すいすい「水辺探検」実行委員会
 ○場所：日本橋船着き場発着
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1927.html>

■ゲリラ豪雨展 in 芦田川見る視る館
 ○日時：2014年8月9日(土)～24日(日)
 ○主催：国土交通省福山河川国道事務所
 ○場所：芦田川見る視る館(広島県福山市)
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1946.html>

■水シンポジウム in ながさき
 ○日時：2014年8月21日(木)～22日(金)
 ○主催：第19回水シンポジウム実行委員会
 ○場所：長崎ブリックホール・大ホール
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1924.html>

■応用生態工学会 第18回大会(東京大会)
 ○日時：2014年9月18日(木)～21日(日)
 ○主催：応用生態工学会
 ○場所：首都大学東京 南大沢キャンパス12号館
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1911.html>

■第7回いい川・いい川づくりワークショップ
 ○日時：2014年9月20日(土)～21日(日)
 ○主催：いい川・いい川づくり実行委員会
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1921.html>

■禹王サミット in 広島
 ○日時：2014年10月18日(土)～19日(日)
 ○主催：NPO法人 佐東地区まちづくり協議会
 ○場所：広島県国際会議場 他
<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/1647.html>

(海外の河川・流域再生に関する主なイベント)

- 2014.9.2-5(カタローニャ/スペイン) Cong. on Industrial and Agricultural Canals
- 2014.9.15-19(キャンベラ/豪州) 17th International Riversymposium
- 2014.9.21-26(リスボン/ポルトガル) IWA World Water Congress & Exhibition
- 2014.9.21-24(ハノイ/ベトナム) 19th IAHR-APD 2014 Congress
- 2014.9.28-10.2 (ハンブルク/ドイツ) 11th International Conference on Hydrosience & Engineering
- 2014.10.27-29 (ウィーン/オーストリア) European River Restoration Conf. 2014
- 2014.11.19-21 (マリキナ/フィリピン) 2nd Philippine International River Summit
- 2015.3.6-8 (ダッカ/バングラ) 5th Int. Conf. on Water and Flood Management
- 2015.4.12-17(Daegu/韓国) 7th World Water Forum
- 2015.6.28-7.3(ハーグ/オランダ) 36th IAHR World Congress

書籍等の紹介 Publications

■ 東京2020計画地図 (2014.2 発刊)

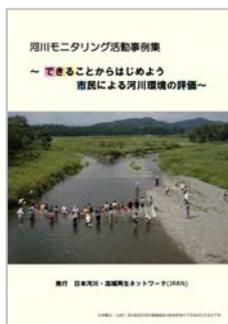
- ・編著：東京都市計画研究会
- ・出版社：かんき出版
- ・価格：1,470円
- ・ISBN-13：978-4761269746
- ・出版年月：2014年2月



JRRN 代表理事・土屋信行がメンバーに属する「東京都市計画研究会」編集の新刊本です。「銀座に川がよみがえる」「川・運河を観光船が走りまわる」など、2020年の東京の川や水辺に関わる話題も豊富に登場しております。

■ 河川モニタリング活動事例集～できることからはじめよう 市民による河川環境の評価～(2014.3 発刊)

- ・執筆協力：河川再生に携わる市民団体や行政機関
- ・発行：日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)
- ・出版年月：2014年3月



市民が主体的に取り組む河川環境のモニタリング活動の実態を調べ、各地のモニタリング活動事例や市民による河川モニタリング活動の更なる活性化に向けたヒントを紹介しています。

※本冊子の入手方法

JRRN 事務局までご連絡ください。送料のみご負担頂いた上で、無料で提供致します。(JRRN 会員限定)
info@a-rr.net / 電話：03-6228-3862

■ JRRN の登録資格 (団体・個人)

JRRN への登録は、団体・個人を問わず無料です。
市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

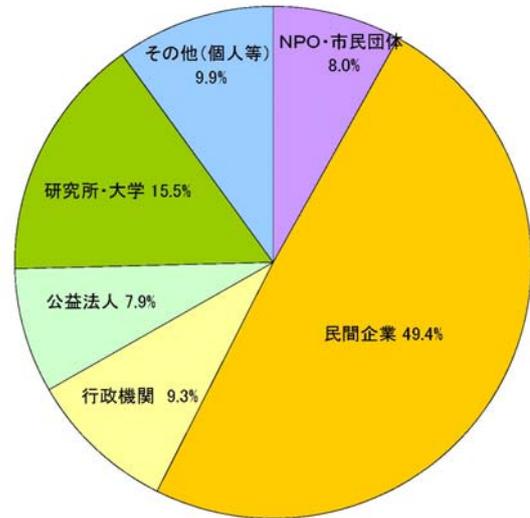
会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週 1 回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2014年7月31日時点の個人会員構成
(個人会員数：664名、団体会員数：53団体)

JRRN 会員特典一覧表(団体会員・個人会員)

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：<http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 新川中央ビル7階

公益財団法人リバーフロント研究所 内

Tel: 03-6228-3862 Fax: 03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>

JRRN 事務局は、「アジアにおける河川再生のためのネットワーク構築と活用に関する研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

